

# 国際ジャーナル JOURNAL

THE INTERNATIONAL GRAPHIC JOURNAL

1  
Jan. 2003

VOL.21 NO.256

## 特別企画

### ■地域に生きる／人と企業

企業は人なり〜その人物像を探る

### ■ドクター訪問

### ■逸店探訪

表紙：コリン・パウエル  
(アメリカ国務長官)

## Features

# 日本経済 再生夜明け前

緩やかな回復基調を確かなものに



# 低迷する建築業界にあってリサイクル事業に着手 今後の取り組みに期待が高まる

砂利などの採取販売、運輸業務、土木工事、除雪工事など幅広く手掛けている「丸興産業」。建築業界が低迷する中、産業廃棄物の収集運搬業務やコンクリート等のリサイクル事業に乗り出し積極的に事業拡大を推進している。また小野寺社長は、中学校に本を寄贈するなど、企業家として地域に貢献。その他に、東京国際大学商学部OBの会地元支部長を務めるなど様々な顔を持つ。

**蓮水** 早速ですが、御社では主にどういったお仕事をされているのですか。

**小野寺** 砂利・砂利・底石（伊達石・商標登録済）などの採取販売、運輸業務、土木工事、除雪工事などが主な業務です。蓮水 では、現在のお仕事を始められた経緯と伺いますと。

**小野寺** 大学卒業後の4年ほど貿易会社の三井物産コーポレーション（本社東京）に勤めた後、昭和60年8月に群馬県で浄化槽のメンテナンス会社の創設に支人と



代表取締役 小野寺 靖

ゲスト 速水 亮

一緒に関与しました。その後、父と共に同様の会社を設立するために帰郷したのです。ところが、準備段階で父が急逝しまして、当時父が経営していた4つの会社は兄と2人で分け、それぞれ運営することにしました。私が引き継いだ頃は、社員数6名、年商700万円ほどの会社でしたが、周りのの方々のお引立てにより現在は社員数18名、年商2億円の会社に成長させることができました。

**蓮水** 長引く不況の中、安定した成長を続けていらっしゃるようですね。では、仕事をされる上で社長が心掛けているこ

とを教えてください。

**小野寺** 私は自分に3つのテーマを課してあります。「努力する者だけが一流になれる」「変化に対応し進化していく者だけが生き残っていく」「計画、実行、反省を繰り返していきける者だけが成長、発展を遂げていく」の3点を念頭に置いて業務に臨んでいます。社員にも同じ意識を持ってもらいたいと考えていますので、この3つを社是にする予定です。更に毎月10日に全社員で定例会議を開き、お互いに気付いたことを話せる機会を設けるなど、建築業界の現状や動向、安全対策などについて話し合うことで士気を高め、個々のレベルアップを図っています。

**蓮水** では、最後に、今後の展望を。  
**小野寺** 低迷状態にある建築業界で現状維持は厳しい。そんな中で当社は、新事業に着手するべく、まずは昨年10月に産業廃棄物の収集運搬業務に乗り出しました。次に、産業廃棄物の中間処理施設のリサイクル事業を立ち上げる予定です。現在、品質の異なるコンクリートを寄せ集めてリサイクルし、道路等に使用する方法が主流なのですが、これでは何より大切な良い道路の下地（基礎）は出来ません。そこで当社では、リサイクルしたコンクリートのガラとバージン材の砂利を混合させ、より品質の高い再生路盤材を作る方法を考案し、目下許可申請中です。この許可が下りれば年内初の試みとなります。また、まだ私の顔の印だけですが、次なる事業計画も固めています。今後も時代の要請に応えて行く企業としてステップバイ・ステップを目指し所存です。



**丸興産業 株式会社**

宮城県石巻市鹿又字穴山5-1

TEL 0225-74-2201 (FAX) / FAX 0225-74-2256

(取材/平成14年10月)